

沖縄総合事務局 広報誌 / 第393号

# Muribushi

むりぶし  
群星

1月 2月号 2021  
月号

隔月発行

January  
February



新春  
対談

島から沖縄の未来を考える

特集

ResorTech Okinawa 2020に出展しました

- 1 新春対談 **島から沖縄の未来を考える**
- 5 内閣府だより 「その仕事は沖縄で」～テレワーク推進事業～  
河野大臣の沖縄訪問
- 6 特集 **ResorTech Okinawa 2020に出展しました**
- 8 連載企画 スポーツ産業の未来vol.1 沖縄SV～プロスポーツチームによる地域創生～
- 10 仕事の窓1 みなさまのニーズにお応えします!!～公正取引委員会の広報活動～
- 12 仕事の窓2 「米軍施設返還跡地まちづくりパネル展」を開催しました
- 13 仕事の窓3 国有財産の最適利用による地域連携の推進  
～第38回国有財産沖縄地方審議会を開催～
- 14 仕事の窓4 食品ロス削減に資する食品関連事業者における啓発活動  
～10月の食品ロス削減月間にあたって～
- 15 仕事の窓5 沖縄観光、食べて応援!～県産和牛フェア開催中 1月末まで～
- 16 仕事の窓6 生産者を応援!～おきなわ お花で元気いっぱいプロジェクト～
- 仕事の窓7 琉球伝統芸能披露会の開催  
～首里城破損瓦を利活用した首里城御庭(うなー)の空間再現～
- 17 仕事の窓8 令和2年度「伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰式」及び  
「伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰伝達式」を開催しました
- 仕事の窓9 豊見城市ウージ染め協同組合へ説明会を開催しました
- 18 仕事の窓10 「地域未来牽引企業」が追加選定されました
- 19 仕事の窓11 「ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典in沖縄」が開催されました
- 20 仕事の窓12 公共交通事故被害者等支援フォーラムを開催しました  
～近畿運輸局・神戸運輸監理部・沖縄総合事務局の会場を繋いで初めての  
合同WEBフォーラム～
- 仕事の窓13 バリアフリー教室inフェリー海邦!!
- 21 仕事の窓14 新型コロナウイルス感染症対策・運行開始前点検の実演PRイベント  
～貸切バスで安全・安心な沖縄旅行を!～

「守礼(しゅれい)」とは「礼節を守る」という意味で、門に掲げられている扁額(へんがく)には「守礼之邦(しゅれいのくに)」と書かれています。これは、「琉球は礼節を重んずる国である」という意味です。

首里城は石垣と城門の多い城ですが、中でもデザイン上バランスがとれ、エレガントな雰囲気のある代表的な門がこの「守礼門」です。

守礼門は古くは「首里門(しゅりもん)」とも言われていましたが、上の方にある美しい門ということと、「上の綾門(いいのあやじょう)」とも呼ばれていました。

1527～55年(第一尚氏4代 目尚清王(しようせいおう)代)にはじめて建立され、1933年(昭和8)に国宝に指定されましたが沖縄戦で破壊されました。現在の門は1958年(昭和33)に復元されたもので、その後今日まで沖縄を象徴する観光施設として利用されています。また、2000年の記念紙幣二千円札の絵柄にもなっています。(表紙の写真は、一昨年の首里城火災前に、上空からドローンで撮影した守礼門と首里城正殿です。)



表紙写真

## 島から沖縄の未来を考える

新春対談企画として、株式会社カルティベート代表の開梨香氏をコーディネーターに、座間味村の宮里村長（沖縄県離島振興協議会会長）と吉住沖縄総合事務局長とのオンラインによる対談を行いました。「島から沖縄の未来を考える」をテーマに、島づくりへの思いや、思い描く未来について伺いました。



宮里 哲 (みやざと・さとる)

座間味村出身。第一経済大卒。平成6年座間味村役場採用。企画課係長、産業振興課係長などを経て平成21年5月の村長選で初当選。現在3期目。沖縄県の離島振興協議会会長、過疎地域振興協議会会長、南部市町村会会長等を務める。

吉住 啓作 (よしずみ・けいさく)

兵庫県出身。沖縄総合事務局長。京大卒。平成2年総務庁採用。大臣秘書官、北方対策本部参事官、内閣官房領土・主権対策企画調整室参事官、内閣府参事官（沖縄総括担当）、内閣府大臣官房会計課長などを歴任。令和元年7月より現職。

開 (比嘉) 梨香 (ひらき (ひが)・りか)

沖縄県出身。株式会社カルティベート代表。琉大卒。インテリア会社等代表として、文化施設や商業施設の展示・内装を手がける。NPO法人日本エコツーリズム協会設立参画後、地域活性化を支援するコンサルティング会社を設立。沖縄海邦銀行社外取締役、沖縄振興審議会総合部会専門委員などを務める。

### 島々の魅力

開…吉住局長は、就任以来、県内各地を訪問し、とりわけ離島へは頻繁に足を運んでいると伺っています。離島に注目するのはなぜですか。

吉住…就任以来、県内41市町村すべてを訪問し首長と意見交換を行いました。訪問した離島は60か所になりました。沖縄の島々は魅力にあふれ、大きな可能性を感じます。私は以前、北方対策や領土主権対策を担当していました。日本の国土面積は約38万km<sup>2</sup>で世界第61位に過ぎませんが、排他的経済水域と領海を併せた面積は約447万km<sup>2</sup>で第6位。世界有数の海洋国家と言えます。離島は、これら領域や海域の保全、海洋資源の利用など重要な役割も担っています。

開…島々の印象はいかがでしたか。

吉住…沖縄の島々には、豊かな自然、歴史、文化があります。人と人とのつながり、自然と共生する暮らし、伝統や文化を守り受け継ぐ心などが今でも大事に残っていて、訪れるたびに新しい発見があります。あまり知られていない魅力ある観光資源が沢山あることに気付きました。県内41市町村全てに足繁く通ううちに、それぞれの地域、島一つ一つに愛しさを感じています。

## あまり知られていない 魅力ある観光資源

**開**…あまり知られていない魅力ある観光資源とは、どのようなものですか。

**吉住**…例えば、西表にはかつては炭坑の島として栄えた内離島があり、トロッコのレール跡や坑口跡、共同浴場跡などが当時の面影を残しています。久米島にある東洋一美しい砂浜と言われるハテの浜、栗国村にあるダイナミックな景観のヤヒジャ海岸、渡名喜島のもちきび焼酎や伊江島・南大東島のラム酒等の特産品など、資源のポテンシャルが非常に高いと思います。ただ、PRや人材等の不足などから、まだまだ知られていないものが沢山あるように感じます。

**開**…PR強化と人材確保のために、何かいいアイデアはありますか。

**吉住**…例えば、栗国村では移住してきた地域おこし協力隊が、地域の魅力のPRや特産品開発など、島の活性化に一役買っています。また昨今、本土の自治体や中小企業では、東京などの大都市圏にいる副業可能な人材を活用する動きが広がっています。都内の外資系製薬会社に勤める社員が月5万円の報酬で地方企業に協力し、収益面での助言に貢献する事例などもあるようです。



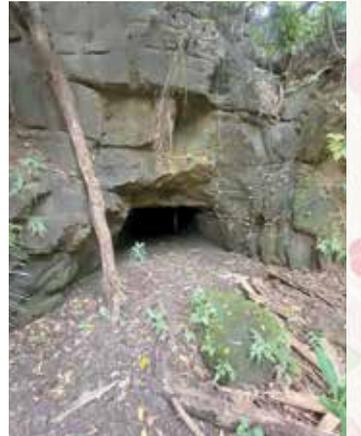
ヤヒジャ海岸 (栗国村)



もちきび焼酎 (渡名喜村)



ハテの浜 (久米島町)



内離島の坑口跡 (竹富町)

## 島づくりへの思い

**開**…村の最前線に立ち、財政再建や地域活性化に取り組んできた宮里村長ですが、就任時の思いや島づくりへの思いなどについてお聞かせ下さい。

**宮里**…村長に就任したのは41歳のときです。それまで役場の職員として財政などを担当していました。当時夕張市の破綻があり、座間味村も全国でワーストランキングに入る状況で多くの課題を抱えていました。私自身、子育て中ではありましたが、いろいろ変えていけるところはあるのではないかと思います。就任してからは夕張市の破綻を受け、国でも支援制度を整えていたので、新たな制度を大いに活用することができました。沖縄には「島ちゃび」(離島苦)という言葉があります。離島は、教育、医療、生活面など、沖縄本島と比べて色々なハンディがあります。村長就任当時、もう少しかゆいところ、手が届くような支援策がほしいと思っていたところ、地元の要望なども相まって、自由度の高い一括交付金の制度が設けられました。これを活用し、水道の広域化や船賃の低減、観光振興や農業振興などに取り組むことができました。一括交付金のおかげで、離島を取り巻く環境が非常に変わってきたという印象が

あります。このような時期に村長をさせてもらったことは幸運でしたし、まだまだ足りないところは、引き続きしっかりとやっていきたいと思っています。

## 島ちゃびの解消のために

**開**…県内離島の現状をどのようにとらえていますか。

**吉住**…一部の島を除いて人口減少が著しく、地域社会の維持がどんどん難しくなってきたのが現状のようです。様々な制約から、生まれ育った島を離れざるを得ないという話を聞くときが痛みます。宮腰元沖繩担当大臣が引用される言葉に、「さとうきびは島を守り、島は国土を守る」というものがあります。国土というのは、そこで国民が生活しているという実績があることが重要であり、そのような実績がなくなった島は、領土問題の対象にならかねないことを、私たちは見てきました。離島県である沖縄の振興を考えると、費用対効果だけでは語りきれない部分があると感じています。

**宮里**…島々の課題は多様ですが、人口をいかに維持するか、あるいは増やしていくかというのが最大のテーマです。人が住むためには、仕事が

あり、生活しやすい環境があることが大前提です。一括交付金は使途が多岐にわたり自由度が高いので、離島自治体にとって大きなメリットがあります。取組の一例として、教育環境の整備があります。ほとんどの島には高校がありません。進学のため子どもを本島へ送り出す親は、経済的にも負担が大きい。母親がその進学に合わせて下の子どもを連れて本島に出ていく家庭も増えていました。一緒に島を出た下の子は島での思い出を作ることができません。将来この子供たちは島に帰ってきてくれるだろうかとの思い。さらに生徒数の減少が複式学級を作り、教職員が減少し人口減につながるといった負のスパイラルに危機感を感じていました。このような中、思いを同じくする離島の首長と力を合わせて、沖縄本島で進学する離島出身者のための学生寮を県に整備してもらいました。島ちゃびは、何よりも大切な教育にも及んでいます。寮から多くの人材が輩出されることを期待したい。これからも島ちゃびの解消に向けた取組を進めていきたいと思っています。

### より多くの人々に 知ってもらうための工夫

**開**…観光振興のために、何かよいアイデアはありますか。

**吉住**…沖縄の島々には古くから培われてきた文化や芸能、伝統行事が各地域で受け継がれ、今なお暮らしの中に息づいています。島々で語り継がれる歌や踊り、伝統行事や祈り。沖縄に来られる多くの方々にこうした魅力をもっと知ってもらいたいと思います。離島への誘客は滞在日数の増加にもつながります。また、沖縄県全体で一体となってPRするなど、より多くの人々に知ってもらうための工夫が必要だと思っています。

**宮里**…全国の自治体では、観光を地域活性化の切り札と位置付け積極的にPRを展開しており、小さな離島が生き残るのは至難の業です。しかし沖縄観光のブランド力は確たるものがあると思います。県、市町村、沖縄観光コンベンションビューロー、民間事業者が連携を深め、情報発信を強化すれば、期待できる成果は得られると思います。

### 知恵を皆で出し合っていく

**開**…経済活動と環境保全についての考えをお聞かせください。

**吉住**…沖縄は豊かな自然や歴史を有する地域です。インフラ整備を進める立場としては、古くて良いものを大切に残しながらということを常々感じています。地域で生活する人にとっては、利便性の向上や生活基盤の整備は必要です。何を守り、何を使うのか分けて整理した上で、いかに環境に負荷をかけず開発していくか知恵を出す。知恵を皆で出し合っていくことが大切であると考えています。

**宮里**…何を守り、何を使うのか、棲み分けは大切です。自然や文化をしつかり守ることが、観光振興や経済発展につながるという側面もあります。多くの離島では、移動手段はおおよそ船に頼っており、キャパシティや便数で入域者数をコントロールすることができません。持続可能な島の発展に向けて、保全と活用バランスをいかに取っていくかということが重要なテーマになっています。

### 市町村の思いに寄り添う

**開**…地域課題の解決に向けての沖縄総合事務局の取組についてお聞かせください。

**吉住**…沖縄総合事務局は、国の総合出先機関として、社会資本整備や産業振興に取り組んできました。取組を更に強化するため、昨年4月、沖縄市町村施策支援室を新たに設けました。市町村による施策の企画立案を積極的に後押しし、各種相談に応じていきます。日頃から職員に対しては、可能な限り現場に赴き、市町



村の生の声を聞き、市町村の思いに  
しつかり寄り添うようにと話をし  
ています。

**宮里**…沖縄現地に相談窓口ができた  
ということ、大変便利さを感じて  
います。必要に応じて東京に行って  
調整していた案件もあり、身近なと  
ころで気軽に相談できるといふ点で  
はメリットが大きく、大いに期待し  
たいと思います。



## ■ 思い描く未来

**開**…昭和47年に沖縄が日本に復帰し、  
沖縄振興がスタートしてから、やがて  
半世紀になろうとしています。これか  
らの沖縄振興や思い描く未来につい  
て、考えをお聞かせください。

**吉住**…沖縄の本土復帰後、社会資本  
整備における本土との格差是正は進  
展し沖縄は大きく発展してきました。  
他方、県民所得の格差是正、子供の  
貧困対策など今なお解決すべき課題  
が存在します。離島、北部など地域  
ごとの振興、渋滞対策、インフラ整  
備などは引き続き重要です。日本の  
少子高齢化、人口減少は続き、財政  
事情は一層厳しくなります。沖縄、日  
本を巡る国際情勢も大きく変化しま  
す。このような時代に相応しい沖縄  
振興の在り方を皆で考え、知恵を出  
し合う必要があります。私は、沖縄  
総合事務局の仕事は、地域づくりの  
お手伝いだと思っています。これは  
単独ではできません。県、市町村、民  
間事業者、地域住民など多様な主体  
と積極的につながっていく必要があ  
ります。行政、民間が一体となって  
望ましい未来像を共有し、環境を守  
りながら、地域を豊かにしていく。皆  
でこのような取組を進めていくこと

が必要だと考えています。

**宮里**…大変心強い言葉です。私たち  
もその思いに添えていかないとけ  
ない。沖縄の経済社会は大きく発展  
してきましたが、人口減少や、経済・  
産業活動の縮小、財政の悪化などの  
課題を抱えた地域もあり、まだまだ  
取り組むべき課題があります。離島  
地域の首長は、なんとか人口を増や  
したい、しっかりとした産業を育てた  
い、住みたいと思わせるような住環  
境をつくらないといけないとの強い  
思いで臨んでいます。

**開**…本土でも人口減、高齢化は深刻で  
すが、沖縄の37有人離島の大半が同じ  
悩みを抱えています。まさに日本の縮  
図です。小さいからこそ見えやすい離  
島で、様々な課題解決の取り組みをす  
ることは、日本全体のモデルづくり  
にもなる気がします。

**吉住**…ICT技術の進展により、豊  
かな自然の中での暮らしとリモート  
ワークの両立が可能であり、離島で  
のワーケーションが注目されていま  
す。滞在日数の増加にもつながり、私  
も関心を持って見えています。離島で  
は、遠隔医療や遠隔教育、バスの自  
動運転など様々なチャレンジも進ん

でいて注目しています。

**宮里**…今はコロナ禍ですから、積極  
的に色々なことにチャレンジしたほ  
うがいいと思っています。ピンチを  
チャンスに変えていく。次の攻めに  
つながりますから。

**開**…本当にそうですね。本日は貴重な  
お話、ありがとうございました。



高月山第1展望台より慶良間の青い海を望む(座間味村)

# 内閣府だより

## 「その仕事は沖縄で」～テレワーク推進事業～



沖縄テレワークポータルサイト  
「その仕事は沖縄で」



<テレワーク施設の例>  
TOYOSAKI プラットフォームセンター  
(豊見城市)



<テレワーク施設の例>  
宮古島ICT交流センター  
(宮古島市)

内閣府では県外企業の沖縄進出や県内企業の働き方改革に資するため、テレワーク施設の整備などを支援する事業を実施しています。

また、沖縄テレワークポータルサイト「その仕事は沖縄で」(<https://tele-okinawa.go.jp/index.html>)では沖縄県内にあるテレワーク施設をまとめて検索できるほか、県内外の企業に向けたテレワーク関連イベント等の案内も行っています。是非一度ご覧ください。

## 河野大臣の沖縄訪問



首里城正殿跡視察（那覇市）



那覇空港検疫所支所視察（那覇市）



牧港補給地区（キャンプ・キンザー）視察（浦添市）



赤瓦漆喰はがしボランティアへの声掛け（那覇市）

令和2年12月4日～5日にかけて、河野沖縄担当大臣は沖縄県を訪問し、令和8年までの正殿の復元に向けた取組が進められている首里城、新型コロナウイルス感染症に対する水際対策の現場である「旅行者専用相談センター」（TACO）、返還が予定されている牧港補給地区（キャンプ・キンザー）などを視察しました。

また、県内の経済団体代表及び市町村・各圏域代表と意見交換を行いました。

# 特集 ResorTech Okinawa 2020 に出展しました

## その仕事は 沖縄で

Telework & Stay in Okinawa



当日のブースの様子

「コロナ禍の中での開催となりましたが、展示会場には、途切れることなく多くの方に立ち寄っていただき、その数は4日間で約1,000人となりました。この関心の高さは、「テレワークとは何か?」、中でも「ワーケーションとは何か?」を深く知りたい人が大勢いることを感じさせる結果でした。

### 「ワーケーションとは何か?」 という高い関心

令和2年10月29日(木)～11月1日(日)までの4日間、沖縄コンベンションセンターで、ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市2020が開催されました。内閣府沖縄総合事務局では、「その仕事は沖縄で」最新テレワーク・ワーケーションをご紹介」として、ブース展示とオンラインセミナーでの発表を行いました。

一方で、ワーケーションを経験した人はまだ少なく、イメージが先行している状態が伺え、「ワークとバケーションを同時にやること」という誤解が大きいのが現状です。沖縄で例えると、「ビーチにパソコンを持って行き、オンライン会議をする」という誤解です。実際のワーケーションスタイルは、「目的が旅行なのか」「目的が仕事なのか」によって、やり方は全く異なります。メインが何かによって、実は多様なワーケーションスタイルが存在し、求められる施設の機能、立地、提供コンテンツも異なるのです。

そこで、ニーズの多様性と、それに応える施設が沖縄県内には約40か所※もあることを知ってもらおうと、ブース内では、好きなワーケーションタイプの人気投票や、テレワーク施設と会場をつなぐオンライン交流等を実施しました。これにより、沖縄でのワーケーションスタイルに、理解を深めていただくことができました。



オンラインセミナーの様子

人気投票では、「ビーチはすぐそこ。緑に囲まれ。」という観光・レジャーを目的としたワーケーションが1番人気で、「離島の古民家。山原の商店街。」という地域・交流を目的としたワーケーションが2番人気でした。レジャーイメージが強い中で、「地域の人と交流してみたい」という声は予想以上に多く、仕事をしながら暮らすように過ごすことで、観光とは違った沖縄体験への期待が感じられる結果となりました。

※2020年度中の完成予定施設を含みます。

在宅ワークの普及によって、遠隔地・オンラインでのコミュニケーションが当たり前になった人が急増しています。そうしたワーカーたちは、会社に行かないと業務が止まってしまふ、ということはなくなりました。これまで、平均3泊4日と言われていた沖縄旅行ですが、オンラインで業務対応ができれば、それ以上の長期滞在が可能になり、より休暇を満喫できるようになります。

## 個人も企業も、ニューノーマルを求めて



ワーケーションタイプの人気投票

これが、旅行を目的としたワーケーションです。

一方で、テレワークが定着し、地方のサテライトオフィスに新しい可能性を見出そうとしている企業もいます。環境を変えることによるリフレッシュ効果だけでなく、人材育成の場、採用戦略、イノベーションの拠点と、企業価値や競争力の向上につながる活用を検討している事例もあります。

具体的には、越境学習やハッカソンを地方で行うケースがあります。例えば、地域の課題を、自社の技術を使い、どう解決するかを考えるプログラムなどです。

こうした取組が良いのは、企業側だけでなく、地域側にもメリットが大きい点が挙げられます。地方の課題となっている「人材確保」について、こうしたサテライト利用を通じて、都会

の人材やノウハウを、地方がシェアリングすることができまふ。

このように、仕事を目的としたワーケーションをきっかけに、関係人口づくりに発展させる事が期待されます。キーワードは、「地域・交流」です。

ニューノーマルな働き方として、関心が高いワーケーションではありません



県内のテレワーク施設



「その仕事は沖縄で」リーフレット

が、その可能性について、十分に知られているとは言い難いのが現状です。ワーケーションは、リフレッシュ効果や観光消費にとどまらない、都会と地域をつなげるハブの役割として、大きな可能性を秘めています。都会で働く多くのワーカー、企業にチャレンジしてもらい、地域との新しい関係を構築していただきたいと考えております。

※ハッカソンとは、ハック（Hack）とマラソン（Marathon）を掛け合わせた造語です。エンジニアなどが一定期間集中的にプログラム開発やサービスの考案等の共同作業を行い、その技能やアイデアを競う催しのことを指します。

Teletwork & Stay in Okinawa  
その仕事は沖縄で








テレワークポータルサイト

お問合せ先  
経済産業部 商務通商課

☎ 098-866-1731

## 沖縄SV ~プロスポーツチームによる地域創生~



産学官金が連携しスポーツの産業化を目指すべく、平成29年に組成された沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会（通称「スポクラ」）。スポーツ関連のみならず、多くの組織・企業にご参加いただいています。

今号より「スポーツ産業の未来」と題して、沖縄のスポーツ・ヘルスケア産業が抱える課題とそれに取り組み組織を6回のシリーズでご紹介します。第1回目は、「沖縄コーヒープロジェクト」を手掛けるプロサッカーチームの沖縄SV（エスファウ）の地域創生の取組についてご紹介します。

### なぜ、サッカーチームが農業？

沖縄SVは元サッカー日本代表の高原直泰氏が2015年に設立したプロサッカークラブで、現在、九州リーグに属しています。その沖縄SVが取り組んでいるのが「沖縄コーヒープロジェクト」です。なぜ、サッカーチームが農業に携わるのか。その答えは高原氏の体験にあります。

高原氏はJリーグで活躍した後、海外へと活躍の場を移しましたが、その中でも大きな影響を受けたのがドイツ時代。ドイツではサッカークラブはチームの勝利を目指すだけでなく、地域に根差し地域と共にスポーツのチカラで社会問題を解決していました。そ

のドイツのクラブを理想として立ち上げたのが沖縄SVです。



### 沖縄の社会課題と向き合う

クラブを設立して間もなく、沖縄における様々な社会問題を目の当たりにした高原氏が、中でも強い関心を示したのが「農業における課題」でした。沖縄の農業は農家の高齢化、後継者不足という大きな課題を抱えています。これらの課題解決には、「若者がチャレンジしたくなるような作物」すなわち、①今後、消費の拡大が予想され、②他農地と差別化でき、③六次化（観光）につながる農産物、の必要性を実感したどり着いたのがコーヒー栽培だったのです。



## 世界最大の食品会社や大学を 巻き込んだプロジェクト

高原氏の思いに賛同し強力なサポーターになったのが、世界最大の食品飲料会社ネスレの日本人「ネスレ日本」でした。中国やインドなど人口の多い国々の経済発展に伴い、嗜好品であるコーヒーは需要過多になりつつあります。コーヒーが主力ビジネスのひとつであるネスレにとっては、安定した供給量が確保できないのは死活問題です。そこで始めたのが「ネスカフェプラン」でした。世界中の農家に苗木を提供し、ネスレ所属の農学博士が農家を技術面でもサポートします。これらの取り組みのように、社会的価値を生み出すことで本業の価値創造を行うことで、持続性を担保するという手法はCSV (Creating Shared Value) と呼ばれ、世界的に注目されています。この「ネスカフェプラン」に日本で初めて取り組んだのが沖縄コーヒープロ

ジェクトです。

## 希少な国産コーヒー産地としての道のり

沖縄はコーヒーが栽培できるコーヒーベルトの北限ギリギリに位置しており、理論上、栽培は可能とされています。しかし、沖縄におけるコーヒー栽培の最大のハードルは台風です。このハードルを乗り越えるために協力しているのが琉球大学農学部です。台風に負けない強い品種の選定や土壌研究、生産技術の指導などをネスレ日本と共同で実施しています。2019年春に植えた苗木は現在、大きいもので170cmを超えコーヒーの実をつけ始めています。



## 地域を巻き込んだ 新しいチャレンジ

これまで、栽培研究を中心に行ってきたプロジェクトですが、今後の展開として高原氏が掲げるのは「地域とのより密接な連携」です。2021年1

月からは、名護市の北部農林高校との連携を開始。苗木や種子を無償で提供し、高校の農場でコーヒー栽培を始めるとの予定です。高校生が学校のカリキュラムの一環として、沖縄SVやネスレ日本、琉球大学農学部と連携して栽培研究を行っていきます。将来性のあるコーヒーという農産物の栽培を学生時代に体験することで、若手の農業従事者を増やし未来のコーヒー農家を育成するとともに、高原氏をはじめとするサッカーチームのメンバーなど普段は交わることのない人々との交流を通じて、高校生のキャリア形成にもつながります。また、コーヒーは観光農園のような「六次化」の高いポテンシャルを持っています。沖縄SVは、沖縄をコーヒーの収穫・焙煎・試飲体験ができる観光のメッカとしてブランディングしていくために、農業法人の設立を予定しています。

## 沖縄SVが目指す理想のクラブへ

沖縄SVはサッカーチームとしてJFL昇格、そしてその先のリーグ入りを目指し日々トレーニングに励んでいます。それと同時に、沖縄コーヒープロジェクトのような活動を通して、地域の課題に地域の方々と共にチャレンジすることで、チームのファンを増やすとともに、選手のセカンドキャリアの可能性を拓ける取り組みにも注力していきます。

近い将来、沖縄でスポーツチームと地域の人々がともに創り上げた「県産コーヒー」を県内外の多くの人が楽しめる環境の構築を目指し、またその活動を通じて農業が活性化し、若者が生き生きと働ける場所を提供する。沖縄SVが描く未来に大いに期待していききたいです。



### 【お問合せ先】

経済産業部 企画振興課  
☎098-866-1727

### 取材・文

沖縄スポーツ・ヘルスケア  
産業クラスター推進協議会  
プロジェクトマネージャー  
青田 美奈  
(株)レジスタ 取締役COO

# みなさまのニーズに お応えします!! ～公正取引委員会の広報活動～



公正取引委員会  
マスコットキャラクター  
「どっきん」



沖縄総合事務局総務部公正取引室(以下「沖縄公正取引室」といいます。)では、「独占禁止法」、「下請法」、「官製談合防止法」、「消費税転嫁対策特別措置法」及び「景品表示法」への理解を促進するため、様々な広報活動を行っています。

今号では、沖縄公正取引室が行っている広報活動の一部をご紹介します。

## 有識者との懇談会



石垣市での懇談会の参加者の様子

沖縄公正取引室では、県内各地の有識者と公正取引室長との懇談会を開催し、各地域における事業者の経済活動の状況を把握し、適確な法運用に役立てています。

10月19日は、石垣市商工会で懇談会を行いました。懇談会では、清水公正取引室長(以下「清水室長」といいます。)から「公正取引委員会の役割と活動」として、「独占禁止法」、「下請法」、「消費税転嫁対策特別措置法」及び「景品表示法」の概要を違反事例を交えながら説明しました。参加された商工会役員の方からは、独占禁止法の拘束条件付取引や下請法の違反行為に関する質問がありました。

## 講師派遣

沖縄公正取引室では、所管している法律に違反する行為が行われることを未然に防ぐため、国家機関、地方公共団体の職員研修や事業者団体が開催する研修会に講師(公正取引室職員)を派遣しています。

11月5日は、那覇市内において、コンテンツの作成を下請業者に委託(外注)している親(おや)事業者の団体が開催した勉強会に、講師を派遣し、「下請法の概要等」をテーマに講演を行いました。



勉強会を受講している参加者の様子

勉強会では、清水室長から、「情報成果物作成委託」の内容を中心に、下請法の概要を説明した上でコンテンツ業界における違反(公表)事例を紹介しました。参加者からは、コンテンツ取引における下請法の適用範囲についての質問などがありました。



講師を務めた清水室長

また、公正取引委員会経済取引局企画室では、昨年12月25日に施行された改正独占禁止法について、経済団体向けに講師派遣を行っていますので、是非御活用ください(オンライン可・無料)。講師派遣を御希望の際は、必要事項を御記入の上、[kaiseihou2020@jftc.go.jp](mailto:kaiseihou2020@jftc.go.jp)にメールしてください。

## 消費者セミナー

沖縄公正取引室では、独占禁止法や景品表示法の内容を分かりやすく説明した上で、消費者の質問にお答えする「消費者セミナー」を実施しています。

11月21日は、沖縄キリスト教学院大学(西原町)において、人文学部大学英語コミュニケーション学科の学生を対象に消費者セミナーを開催しました。

セミナーでは、清水室長が公正取引委員会の役割などを紹介するとともに、消費者に身近な商品やサービスについての独占禁止法・景品表示法の違反事例を多数説明し、参加者(学生)と活発な意見交換(質疑応答)を行いました。



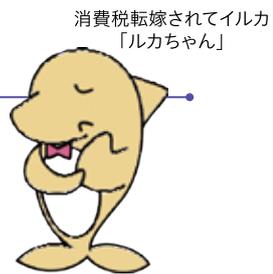
消費者セミナーで発表する学生の様子

## 下請法基礎講習会等



講師を務めた公正取引室職員

公正取引委員会は、下請法の的確な運用を行うとともに、毎年11月を「下請取引適正化月間」と定め、全国の県庁所在地などにおいて、違反行為の未然防止の観点から、普及・啓発活動を実施しています。



消費税転嫁されてイルカ「ルカちゃん」

〔令和2年度「下請取引適正化推進月間」キャンペーン標語〕  
叩くのは 価格ではなく 話し合いの扉

11月25日は、那覇市において、親(おや)事業者を対象とした下請法基礎講習会を実施しました。また、同日、消費税転嫁対策特別措置法及び景品表示法に関する説明会も併せて行いました。



消費税転嫁対策特別措置法に関する説明会での参加者の様子

下請法基礎講習会と2つの説明会には、延べ91名の事業者の方々に参加してくださいました。

また、講習会等の終了後は、下請法等についての「個別相談ブース」も設け、参加事業者の個別相談に対応しました。

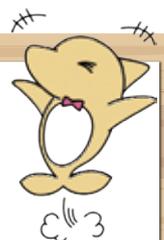
沖縄公正取引室では、皆様のニーズに合わせ、県内各地に所管法律に関する講師派遣や講習会を行っています。お気軽にご連絡ください。

お問合せ先

総務部

公正取引室

☎098-866-0049



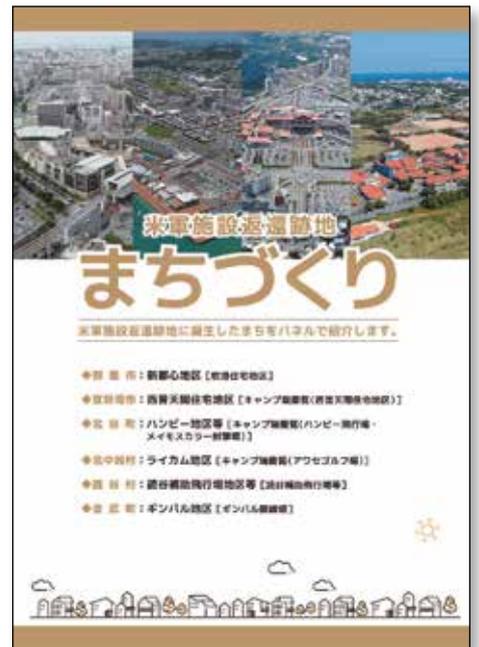
# 「米軍施設返還跡地 まちづくりパネル展」を 開催しました



沖縄総合事務局では、跡地利用の実現に向けた取り組みを行っている市町村に対する支援(駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援事業)を行っており、その一環として、返還跡地のまちづくりの実例を紹介することで、今後の返還予定地のまちづくりに対して地権者のみならず広く県民に関心を持ってもらうことを目的に、令和2年11月21日(土)から23日(月)にかけて、イオンモール沖縄ライカム2階のネイチャーコートにおいて、「米軍施設返還跡地 まちづくりパネル展」を開催しました。

## パネル構成 ( )の数字はパネルの枚数

- ①跡地利用についての概要(5枚)
- ②関係市町村が取り組んできた跡地でのまちづくり事例の紹介
  - 新都心地区(那覇市)(4枚)
  - 西普天間住宅地区(宜野湾市)(4枚)
  - ライカム地区(北中城村)(5枚)
  - ハンビー地区等(北谷町)(6枚)
  - 読谷補助飛行場地区等(読谷村)(4枚)
  - ギンバル地区(金武町)(3枚)
- ③基地跡地の未来に関する懇談会(内閣府主催)におけるとりまとめ概要の紹介(4枚)



イオンモール沖縄ライカムのブラックフライデーセールと重なったこともあり、パネル展会場にも3日間で900名超の方に来場していただきました。

すべてのパネル(35枚)をじっくり見る方も多くいらっしゃいましたが、地元市町村のまちづくり事例の紹介パネルの前で足を止める方が多く、その中でも、開催会場となった北中城村ライカム地区と土地区画整理事業が始まった宜野湾市西普天間住宅地区のパネルに関心が寄せられていました。

また、返還前、返還直後、街が完成していく過程のパネルを指して、当時の思い出を話す方や、今後返還される地区がどのようなまちになるのだろうかと話す方など、今後の返還予定地のまちづくりに対して、関心をもっていただけたことがうかがえました。



# 国有財産の最適利用による 地域連携の推進

## ～第38回国有財産沖縄地方審議会を開催～



11月10日、第38回国有財産沖縄地方審議会を開催しました。本審議会は、沖縄総合事務局長の諮問に応じて国有財産の管理及び処分について調査審議するものであり、委員は各分野における有識者で構成されています。

今回の審議会では、国有財産の処分に関する2件の諮問事項を審議した結果、2件とも諮問どおり処理することを適当と認める旨の答申がなされました。

当局では、引き続き、地域と連携した国有財産の有効活用を図ることによって、地域・社会のニーズに対応できるよう努めるとともに、適正な国有財産行政を進めていきます。



審議会の様子



諮問書交付の様子

### 諮問事項1

#### 宜野湾市に所在する財務省所管の普通財産を、国立大学法人琉球大学に対し、医学部及び病院用地として時価売払いすることについて

対象財産(約11千㎡)は、西普天間住宅地区跡地に所在し、宜野湾市が策定する跡地利用計画において「沖縄健康医療拠点ゾーン」として利用が計画されており、令和6年度末の開学・開院を目指して、琉球大学の医学部と病院が移転整備されることとなっています。



本計画は、「経済財政運営と改革の基本方針」(いわゆる「骨太の方針」)に沿ったものとなっており、当局は駐留軍用地跡地の利用推進、未利用国有地の有効活用の観点から、関係府省庁や地方公共団体と連携し、沖縄振興の一環として沖縄健康医療拠点の整備を後押ししています。

◀出典:国立大学法人 琉球大学  
(移転後の琉球大学医学部及び病院の完成イメージ図)

### 諮問事項2

#### 名護市に所在する財務省所管の普通財産を、名護市に対し、ワーケーション拠点施設及びその用地として時価売払いすることについて

対象財産(約16千㎡)は、旧沖縄総合事務局研修所及び旧国道58号の駐車場敷地として利用されていた財産ですが、名護市がその財産を活用した「名護市ワーケーション拠点施設」を整備する計画となっています。

「ワーケーション」は、「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語で、「リゾート地などで余暇を楽しみつつ仕事を行う仕組み」であり、「新しい働き方」として注目されています。

名護市では、北部町村や部瀬名岬周辺のリゾートホテルとも連携し、北部地域のワーケーションブランドとしての確立に向け、周知・定着を図っていくこととしています。

審議会の開催結果、議事録、資料については、当局ウェブサイトに掲載しております。  
当局ウェブサイト([http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu\\_kokuyuu/kokuyuuzaizan/005/05-02](http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu_kokuyuu/kokuyuuzaizan/005/05-02))



お問合せ先 財務部 管財総括課 ☎098-866-0096

# 食品ロス削減に資する 食品関連事業者における 啓発活動

～10月の食品ロス削減月間にあたって～

**食品ロスを減らす行動をしてみよう**

**食品の期限表示を正しく理解する**

食品の期限表示は、「消費期限」と「賞味期限」の2種類があります。いずれも開封していない状態で、表示されている保存方法で保存した場合の期限が表示されています。消費期限は、「食べても安全な期限」、賞味期限は、「おいしく食べることができる期限」です。賞味期限は、過ぎててもすぐに廃棄せずに自分で食べられるかどうかを判断することも大切です。

**消費期限と賞味期限のイメージ**

通常、消費期限及び賞味期限は「年月日」を表示しますが、賞味期限を表示すべき食品のうち、製造日から賞味期限までの期間が3か月を超えるものについては、「年月」で表示すること認められています。

**食品ロス削減に効果的な方法**

ご家庭からの食品ロスを計量し、記録するだけでも気づきが得られます。また、以下の取組も有効です。

まずは一週間、記録してみましょう。記録様式はこちら

- 使いきれぬ分だけ買う。
- 家にある食材・食品をチェックする。
- 肉や魚の保存方法を工夫する。

※上記の取組は食品ロス削減の取組の一環として実施することとなります。

**調理で作りすぎない 余ったら作り替える**

もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくはQRコードへ

料理レシピサイト「クックパッド」内の「消費者庁のキッチン(公式ページ)」

消費者庁食品ロス削減啓発用パンフレット(一部抜粋)



県内の取組事例  
(ファーマーズマーケットいとまん「うまんちゅ市場」)



地元の新鮮な農産物を美味しく残さず食べていただくことで、食品ロス削減につながることを期待  
(ファーマーズマーケットいとまん「うまんちゅ市場」)

をキャッチフレーズとしており、店長さんによると、ご来店いただいた消費者の皆さんに地元の新鮮な農産物を美味しく残さず

お問合せ先  
農林水産部 食料産業課  
☎098-866-11673

日本国内で、本来食べられるにもかかわらず廃棄される「食品ロス」は平成29年度には約61.2万トン発生しており、そのうち事業系が約32.8万トン、家庭系が約28.4万トンと推計されています。

令和元年10月1日に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」において、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められました。また、昨年3月31日に閣議決定された基本方針において、食品関連事業者には、消費者と

コミュニケーションをとりながら、食品ロス削減に向けた取組を進めていくことが求められることになりました。

「食品ロス削減月間」に沖縄県内の小売業者に消費者への啓発活動実施を呼びかけたところ、9事業者の参加があり、各店舗においてポスターを掲示し、食品ロス削減をPRしていただきました。

このうち、ファーマーズマーケットいとまん「うまんちゅ市場」は、収穫されたばかりの「新鮮さ」、生産者の顔が見られる「安心感」、産直の「安さ」

をキャッチフレーズとしており、店長さんによると、ご来店いただいた消費者の皆さんに地元の新鮮な農産物を美味しく残さず食べていただくことで、食品ロス削減につながることを期待  
(ファーマーズマーケットいとまん「うまんちゅ市場」)

食べていただくことで、食品ロス削減につながっていくことでした。

食品ロス削減のためには、ご家庭からの食品ロスを計量し、記録するだけでなく気が付きが得られます。また、①使いきれぬ分だけ買う、②家にある食材・食品をチェックする、③肉や魚の保存方法を工夫するなどの取組も効果的です。

消費者の皆様も、食品ロス削減に向けて、日本の大切な文化である「もったいない」のころを大切に、それぞれができることから取り組んでみませんか？

# 沖縄観光、食べて応援！ ～ 県産和牛フェア開催中 1月末まで ～

新型コロナウイルス感染症の影響で消費が落ち込んだ和牛肉などの需要喚起を図るため、農林水産省では「和牛肉等販売促進緊急対策事業(観光業と連携した観光キャンペーンの取組支援)」を実施しています。沖縄県では、(公財)沖縄県畜産振興公社が、本事業を活用して令和2年11月1日から令和3年1月31日まで「TASTE OKINAWA 県産和牛フェア」を開催しています。

## 美味しい沖縄県産和牛

県内の畜産農家は、①子牛を生産・出荷する「繁殖経営」、②購入した子牛を育ててお肉として販売する「肥育経営」、③全てを行う「一貫経営」に区分されます。

沖縄では、年間を通じて豊かな牧草資源を活かした繁殖経営が主体で、子牛取引頭数は全国4位となっています。また、肥育経営においても着々と肥育技術を向上させており、石垣牛などの全国トップレベルのブランド牛を生産しています。

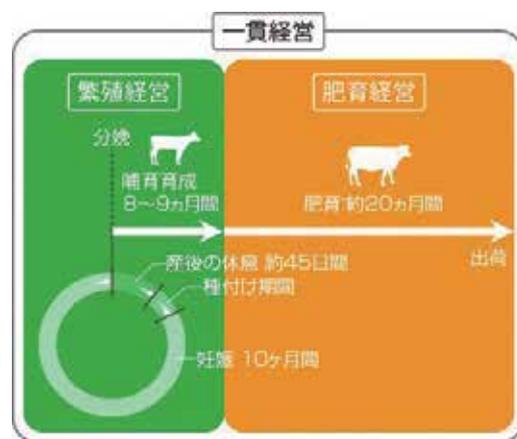
## 沖縄を味わう県産和牛フェア開催

インバウンドや外食需要への依存が大きい県産和牛は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、出荷量の減少や価格の下落など、厳しい状況が続いています。沖縄県畜産振興公社は、同じく観光客の減少により厳しい状況が続いている沖縄県内のホテルと連携して、「TASTE OKINAWA 県産和牛フェア」を開催し、県産和牛肉メニューの提供による沖縄観光のPRに取り組んでいます。

フェア期間中は、沖縄県ホテル協会加盟の14ホテルにおいて、県産和牛肉を使った各ホテルオリジナルの食事メニューがお手頃価格で提供されています。この機会に、ぜひ県内ホテルに足をお運びいただき、県産和牛肉を味わってください。



「TASTE OKINAWA 県産和牛フェア」のチラシ



肉用牛の経営タイプ((公社)中央畜産会HPより)

フェアの詳細は、特設WEBサイトをご覧ください。  
<https://ma-san-cp.com/>



生産者を応援！  
「おきなわお花で元気いっぱいプロジェクト」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で需要が低迷している花の生産者を支援する取組として、沖縄県花き園芸協会が、農林水産省と沖縄県の補助事業を活用し、「おきなわお花で元気いっぱいプロジェクト」を実施しています。

本プロジェクトでは、令和2年10月28日の沖縄総合事務局1階ロビーでの展示を皮切りに、本年2月上旬にかけて、モノレール駅・県庁舎・市町村庁舎・港湾・県立学校などにおいて、デンファレ、ストレリチアなどの県産の花を多く使ったフラワーアレンジメント



花きの展示の様子

お問合せ先  
農林水産部 生産振興課  
☎098-866-1653



花きの展示開始式

の展示を行います。来場者の方々に、お花で元気いっぱいになっていただくよう取組を進めていますので、公共施設にお越しの際はぜひご覧ください。  
「ご自宅で過ごされる時間が長くなっているこの機会に、皆様もフラワーアレンジメントに挑戦し、日々の生活を「花」やかに彩ってみてはいかがでしょうか。」

琉球伝統芸能披露会の開催  
「首里城破損瓦を利活用した  
首里城御庭(うなー)の空間再現」

11月4日、6日に沖縄総合事務局行政情報プラザにおいて、首里城破損瓦を配合したパネル「Unai(うなー)」の展示に合わせて「琉球伝統芸能披露会」と題し、沖縄県立芸術大学教授で県の無形文化財にも認定された、山内昌也さんと、玉城流喜納喜利の会師範の西村綾織さんに、歌三線と舞をご披露いただきました。

お二人は、(一社)琉球伝統芸能デザイン研究室の代表と演者会員として共に活動されています。同団体は、首里城破損瓦を利活用したパネル「Unai(うなー)」を制作し、様々な場所で首里城御庭(うなー)の空間



琉球伝統芸能披露会の様子



展示されたパネルに興味深く触れる来客者

再現を行う「Unai」プロジェクトに取り組まれています。  
披露会当日は、一般の皆さまも含めた多くの方々に観覧いただき、歌三線の美しい音色と優雅な舞に魅了されました。  
沖縄総合事務局においては、沖縄振興に携わるものとして、今後も、沖縄の歴史文化などへの理解を深める取組を推進してまいります。

お問合せ先  
総務部 調査企画課  
☎098-866-10047



仕事の窓 8  
令和2年度「伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰式」及び「伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰伝達式」を開催しました

11月16日に沖縄総合事務局にて令和2年度「伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰式」及び「伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰伝達式」を開催しました。

経済産業省では、昭和59年より毎年11月を伝統的工芸品月間と定め、伝統的工芸品の普及啓発事業を種々展開しております。その一環として、経済産業省と沖縄総合事務局では、昭和59年以降、伝統的工芸品産業の振興及び伝統的工芸品の国民生活への浸透等に関し、顕著な功績を上げ



表彰式の様子

られた方々を表彰しております。  
今年度は、経済産業大臣表彰功労賞（伝統工芸士）を琉球びんがた事業協同組合の安里和雄氏、同じく功労賞（学識経験者）を漆芸家の糸数政次氏が受賞されました。また、沖縄総合事務局長表彰として、功労賞（組合役員）を知花花織事業協同組合の兼城由香利氏と喜如嘉芭蕉布事業協同組合の辺土名加代子氏の2名、奨励賞を壺屋陶器事業協同組合の石倉一人氏と知花花織事業協同組合の玉城由加氏の2名、計4名の方々が受賞されました。



受賞者代表挨拶

受賞者を代表して、喜如嘉芭蕉布事業協同組合の辺土名加代子氏よりご挨拶をいただき、「制作を続けることで、伝統的工芸品産業が発展する。多くの人に愛用される作品を作っていきたい。」と意気込みを述べられました。

お問合せ先  
経済産業部 地域経済課

☎098-866-11730



仕事の窓 9  
豊見城市ウーヂ染め協同組合へ説明会を開催しました

皆さんはウーヂ染めを御存知ですか？

「ウーヂ染めとはさとうきびを利用した染め物、織物のことで、ウーヂの自然な風合いと優しいやすらぎの色が特徴です。（豊見城市ウーヂ染め協同組合HPより一部抜粋）」



説明会の様子

令和2年9月23日に豊見城市ウーヂ染め協同組合の依頼により豊見城市観光プラザ「ていぐま館」内において、「家庭用品品質表示法に基づく表示義務」と「ウーヂ染めのブランド化」について説明会を開催しました。

前半の「家庭用品品質表示法に基づく表示義務」では、消費経済室より法律の概要、繊維製品にかかる製品ごとの表示義務（繊維の組成、家庭洗濯等取扱方法、はっ水性など）について説明を行いました。後半の「ウーヂ染めのブランド化」では、知的財産室よりブランド化の意義、商標権の種類・活用事例、地域団体商標制度の説明及び知的財産権にかかる支援策の紹介を行いました。

お問合せ先  
経済産業部  
商務通商課消費経済室

☎098-866-11741  
地域経済課知的財産室  
☎098-866-11730

# 「地域未来牽引企業」が追加選定されました

## 地域未来牽引企業

今回、沖縄から新たに5者(全国1,060者)が追加選定されました。



経済産業省では、2017年度から地域経済の中心となる担い手となりうる企業を「地域未来牽引企業」として選定しており、沖縄総合事務局管内からは、これまでに67者(全国3,683者)を選定しています。

### 今回、追加選定した企業



株式会社沖縄ホーム  
(食品製造業)



共和産業株式会社  
(建設業)



拓南商事株式会社  
(廃自動車や廃家電のリサイクル業)



南島酒販株式会社  
(総合酒類卸売業)



株式会社ノイズ・バリュー社  
(地域活性化におけるマーケティング  
およびブランディング事業)

### 地域未来牽引企業への支援

沖縄総合事務局では、地域経済を牽引する各選定企業の目標達成を後押しするため、経営基盤強化、IT導入による生産性向上、人材確保、産学官連携、研究開発、海外展示会出展等の販路開拓、事業承継等、幅広いニーズに対応する様々な支援策を活用し、重点的な支援を行っています。

また、当局に配置している「地域未来コンシェルジュ」が、ワンストップで企業からの相談、お問合せ等に対応する他、メールマガジン、ロゴマーク、オンラインセミナーなど様々な方法で、企業の取組を後押ししています。

地域未来投資のページ

<http://www.ogb.go.jp/keisan/chiikimiraitoushi>



お問合せ先 経済産業部 企画振興課 ☎098-866-1727

# 「ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄」 が開催されました



## ツーリズム EXPO ジャパンの概要

ツーリズム EXPO ジャパンとは、旅行業界関係者への商談機会の提供や一般の方向け展示会のほかシンポジウムや各種イベントなど旅の総合イベントとして国内・海外の観光地が集結する年に一度の旅の祭典です。



ツーリズム EXPO ジャパン開会式



世界遺産サミット開会式

国内・海外の観光地が集結する、年に一度の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン旅の祭典 in 沖縄」が2020年10月29日～11月1日に沖縄コンベンションセンター及び宜野湾市立多目的運動場にて開催されました（沖縄県で初の開催）。10月29日（木）、30日（金）は業界関係者を対象とした国際・ツーリズム・フォーラムのほか、日本政府観光局によるインバウンドセミナー、テーマ別シンポジウム、展示商談会などが行われました。10月31日（土）、11月1日（日）には一般向けの展示会や沖縄国際映画祭2021プレイイベント「島ぜんぶでお～きな映画上映会」が行われました。

今回の「ツーリズム EXPO ジャパン旅の祭典 in 沖縄」は、事前登録制による人数制限や、マスク着用の義務化及びwebを使用するなどウィズコロナ、アフターコロナにおけるニューノーマル時代の安心安全なイベントのモデルを示すものとなりました。また、同時開催として「ResorTechおきなわ国際IT見本市」や「第7回世界遺産サミット」なども行われ、4日間で285の企業・団体が出展し、延べ24,174人が来場し、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大後、最大規模のイベントとなりました。

次回のツーリズム EXPO ジャパンは、2021年11月25日～28日「ツーリズム EXPO ジャパン大阪・関西」として大阪市内で開催を予定しています。



展示商談会の様子

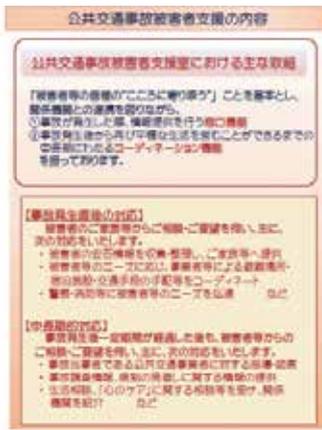
お問合せ先 運輸部 企画室 ☎098-866-1812

公共交通事故被害者等支援フォーラムを  
開催しました

近畿運輸局・神戸運輸監視部・沖繩総合事務局の  
会場を繋いで初めての合同WEBフォーラム

安全意識の啓発や、公共交通事業者による被害者等支援計画策定の意義を改めて認識していただくことを目的に、令和2年11月25日に近畿運輸局・神戸運輸監視部・沖繩総合事務局の会場を繋いで初めての合同WEBフォーラムを開催しました。

当日は、1985年の日航機墜落事故のご遺族であり、「8・12連絡会」事務局長の美谷島邦子氏より「安全の鐘を鳴ら



公共交通事故被害者支援の内容



フォーラムの様子

フォーラムには航空・旅客船・鉄道・バス  
の関係者などから参加があり、受講者は講演内容に真剣に耳を傾けている様子でした。

今後沖繩総合事務局では、より多くの公共交通事業者  
に被害者等支援に取り組んでもらえるよう今後も呼び掛けて  
いきます。

お問合せ先  
運輸部 企画室

☎098-866-11812

バリアフリー教室inフェリー海邦!!

沖繩総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、障がい者等に対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

今年度は、11月16日に一般旅客定期航路事業者の職員等を対象に、久米商船(株)のご協力のもと、去年新たに造船された「フェリー海邦」においてバリアフリー教室を開催しました。

家族や友人と同伴する高齢者や障がい者等への、旅客船会社など観光に従事する職員のちょっとした配慮が沖繩観光に寄与することや、障がい者とのコミュニケーション方法及び介助方法などについて座学を行った後、車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験を行いました。

沖繩総合事務局としましては、今後も



座学



車いす体験



アイマスク体験



高齢者疑似体験

「バリアフリー教室」の開催等を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めていただくとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思っております。

お問合せ先  
運輸部 企画室

☎098-866-11812

# 新型コロナウイルス感染症対策・運行開始前点検の実演PRイベント ～貸切バスで安全・安心な沖縄旅行を！～

10月9日(金)に、「貸切バスで安全・安心な沖縄旅行を」と題したイベントを(一社)沖縄県バス協会と合同で開催しました。

当日は、乗車の際の消毒、車内消毒の実演、運行開始前の点検の実演等感染防止対策の実施状況の実演を行いました。



バス車内消毒の実演



運行開始前点検の実演

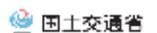
新型コロナウイルス感染症の影響により、沖縄県内においても人の動きが激減し、インバウンド客に至っては”ほぼゼロ”の状況が続いており、バス業界、観光業界が、大変な苦戦を強いられています。

こうしたなか、バス業界では、「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」を策定し、徹底した感染防止対策に取り組んでいます。また、観光バスの新型コロナウイルス感染症に対する安全性については、公的な研究機関である(独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所において、9月25日(金)に空気流動を可視化する実験が実施され、観光バスの優れた換気能力が確認されています。(資料1)

県内各事業者においては、激減した需要の回復に向け、感染防止対策及び安全運行の励行等様々な取り組みを行っており、「安全・安心」の確保に努めています。

今後も、貸切バスが多くの方にご利用いただけることを期待します。

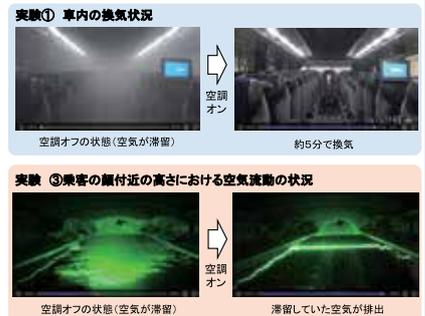
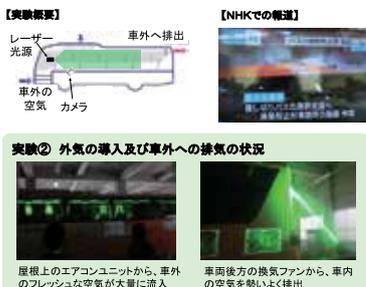
## 観光バスの優れた車内換気能力について



- 観光バスは、窓閉めの状態でも約5分で車内換気を行うことが可能。  
※エアコンを外気導入モードで使用。また、8割以上の車面では、窓開けによる換気も可能
- 優れた換気能力について確認するため、9月25日(金)に、公的な研究機関である(独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所において、空気流動を可視化する実験を実施。

### 交通安全環境研究所の実験(9月25日)

スモークとレーザー光源を用いて、空気流動を可視化。  
(実験結果は、当日夕方のNHKニュースで報道)



資料1



# 落ちない! 大型車の車輪脱落事故0へ

## 正しい作業が、防ぐ事故。

### 徹底しよう! 車輪脱落を防ぐ、4つのルール

#### お きまりのトルクで きちんと 締め付けて

#### 規定のトルクで確実な締め付けを

締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と平面座で締め付けるISO方式があります。「規定の締め付けトルク」で確実に締め付けます。

※ホイールナットの締め付け不足、締め忘れ防止のため、ナット締め付け作業時(終了後)、「規定の締め付けトルク」で確実に締め付けたことを確認するよう、お願いします。



#### ち ゃんと増し締め 交換後

#### 50~100km走行後に、しっかり増し締めを

締め付け後は初期なじみによってホイールナットの締め付け力が低下。50~100km走行後を目安に、増し締めしてください。



#### な (ナット) っと見て ボルト触って さあ出発!

#### 一日一回の 日常点検を

運行前にホイールボルト、ナットを目で見てさわって点検してください。異常を発見したらすぐ整備工場へ。



#### い や待てよ? ボルトと ナットは適正か?

#### ホイールに適合したボルト、ナットを

スチールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合するホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ずご確認ください。

※JIS方式では、アルミホイール(スチール)用のホイールボルト、ナットで、スチールホイール(アルミ)は履けません! ISO方式では、スチールホイール用ホイールボルトで、アルミホイールは履けません!



#### ! 左後輪に注意!

車輪脱落の多くが、気がつきにくい「左後輪」で発生しています。左後輪の点検は重点的に行ってください。

#### ホイールやホイールボルトの錆に注意!

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは、交換してください。

詳しくは、  
こちらから!



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラックス) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会

